

# I 社会福祉法人 杜の会 事業報告

## 1) 2019(令和元)年度事業報告について

2019 年度も法人設立当初より重点課題としていた人財の育成・確保を推し進めました。2018 年 10 月 1 日から新規事業として開設した訪問リハビリテーション及び訪問看護ステーションについては、徐々に利用者も増え、行政による実地指導も行われ軌道に乗りつつあります。このことにより、開設の目的であった利用者皆様への多様なサービスの選択肢を提供できることとなりました。

また、前年度より行っていた平和の杜大規模改修工事も終了し、外見も真新しく感じ、職員一同が初心に帰った気分になり気を引き締める事が出来たと感じております。

当法人の広報活動の一環としてホームページを活用し、週 1 回のブログ更新を 1 年間継続することが出来ました。

今後も更に感染症対策に重きを置きながら安心・安全な法人運営をしていきます。

## 2) 理事会・評議員会等の開催状況

### 【理事会】

回	開催日	議事内容	
1	2019. 6. 6	報告	1. 2018（平成 30）年度下半期苦情解決状況報告について 2. 理事長の職務の執行の状況について 3. 登記事項の変更について
		議決	1. 2018（平成 30）年度事業報告の承認について 2. 2018（平成 30）年度決算の承認について 3. 社会福祉充実残額の承認について 4. 次期役員候補者推薦の承認について 5. 定時評議員会招集の承認について
2	2019. 6. 20	報告	なし
		議決	1. 社会福祉法人 杜の会理事長の互選について
3	2019. 9. 18	報告	1. 理事長の職務の施行の状況について 2. 令和元年度介護職員等特定処遇改善計画書等について 3. 平和の杜大規模改修工事の完了について 4. 2019（令和元）年 6 月 28 日に登記した登記簿謄本（履歴事項全部証明書）について
		議決	1. 経理規程細則の改訂施行の議決について
4	2019. 12. 9	報告	1. 理事長の職務の施行の状況について 2. 平和の杜訪問看護ステーション実地指導結果について 3. 税務調査について
		議決	なし
5	2020. 3. 6	報告	1. 理事長の職務の執行の状況について 2. 平和の杜訪問リハビリテーションの実地指導結果について 3. 札幌西税務署にて行われた国税に関する実地の調査結果について 4. 杜の会職員の特別昇給について
		議決	1. 2019（令和元）年度最終補正予算について 2. 2020（令和 2）年度当初予算及び事業計画について

		<p>3. 特別業務職員（統括責任者、施設長、顧問）との雇用契約について（施設長の医師契約書に関しては、医師契約書第5条に基づき継続する。）</p> <p>4. 管理職（2名）の号棒について</p> <p>5. 社会福祉法人杜の会 奨学資金貸付規程の制定、施行について</p>
--	--	--

### 【評議員会】

回	開催日	議事内容	
1	2019.6.20	報告	<p>1. 2018（平成30）年度事業報告について</p> <p>2. 2018（平成30）年度下半期苦情解決状況報告について</p> <p>3. 登記事項の変更について</p>
		議決	<p>1. 2018（平成30）年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について</p> <p>2. 社会福祉充実残額算定について</p> <p>3. 2019（令和元）年6月20日からの新役員選任について</p>

### 【第三者委員への報告】

回	開催日	議事内容	
1	2019.6.3	報告	2018（平成31）年度下半期における苦情解決状況の報告
2	2019.11.7	報告	2019（令和元）年度上半期における苦情解決状況の報告（書面にて）

### 3) 法人内各事業所の概況…次頁

- Ⅱ… (1) 介護老人保健施設平和の杜
- (2) 通所リハビリテーション
- (3) 平和の杜居宅介護支援事業所
- (4) 平和の杜訪問リハビリテーション
- (5) 平和の杜訪問看護ステーション
- Ⅲ… グループホーム福井倶楽部

### 4) 行政監査の実施

- 2019（令和元）年10月5日～6日 札幌西税務署による国税に関する実地の調査
- 2019（令和元）年10月23日 平和の杜訪問看護ステーション 実地指導の実施
- 2019（令和元）年12月10日 平和の杜訪問リハビリテーション実地指導の実施

### 5) その他

- 2019（令和元）年6月28日…平和の杜大規模改修工事 完了（2018年9月1日から）
- 2019（令和元）年8月3日…第3回 杜の会夏祭り 開催

## Ⅱ 介護老人保健施設 平和の杜

### (1) 介護老人保健施設 平和の杜

#### 1) 2019(令和元)年度事業報告について

より多くの方が住み慣れた地域での在宅生活を送ることができるように地域包括支援の中間施設として、老健の使命でもある在宅復帰に力を入れ、看護・介護・リハビリテーション職員等の多職種連携により利用者へのサービス提供を行い、基本型（在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅰ）の算定を継続することができました。特にリハビリテーション職員の増員により、リハビリテーションの提供の充実と通所リハビリテーション・居宅介護支援事業所と連携し、入所・ショートステイの利用により、在宅生活の継続に力を入れることができました。

重度要介護者についても、体調の管理とリハビリテーションを継続し、長期療養支援を行うことができました。

#### 2) 平和の杜の概況

##### ① 職員配置

2020年3月末現在

	施設長	支援専門員	支援相談員	看護職員	介護職員	管理栄養士	リハビリ	事務員	施設管理
定数	1	1	1	8	19	1	1	0	0
配置数	1	2	3	13	33	1	9	5	4

※医師は施設長、医師・管理栄養士・事務員・施設管理は通所リハも兼務

支援相談員は、2名介護支援専門員と兼務、1名事務職員と兼務。看護職員1名訪看と兼務。リハビリ職員は、9名通所リハ、3名訪問リハと兼務。

##### ② 利用者の状況

a. 利用者定員 80名（一般棟40名・認知症専門棟40名）

b. 月平均の入居者数

2020年3月末現在

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
79.4	78.5	78.6	76.8	75.5	73.6	74.5	77.2	77.9	79.1	79.2	78.8	77.4

c. 利用者の年齢構成

2020年3月末現在

	65才未満	65~69	70~79	80~89	90才以上	平均年齢
男性	3	3	4	13	4	79.9
女性	0	1	9	17	20	86.4
合計	3	4	13	30	24	84.0

d. 利用者の介護度

2020年3月末現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
2020.3.31	23	16	18	14	3	2.4

#### 3) 事業内容

##### ① 利用者援助、施設サービス計画

a. 倫理的課題の取り組み

接遇向上委員会では毎月の接遇目標、内部研修を実施し接遇向上に努めました。身体拘束廃止委員会では抑制廃止マニュアルの改定、虐待の芽チェックリストでの日々の業務を振り返る機会の提供等を行いました。

b. 施設サービス計画の作成、変更

前年度は在宅復帰、長期療養を目標として利用される方と家族のニーズに合わせた計画を他職種協働で作成することができました。今後も利用者のニーズに合わせた計画を作成し、在宅復帰支援や長期療養支援の目標が達成できるように支援します。

c. 事故予防対策

2019年度の事故報告は32件（前年度35件）あり、入院が必要となった重大事故は1件（前年度2件）、新たな転倒・転落アセスメントスコアシートの導入も行い前年度よりさらに事故報告数は減少しました。次年度も事故報告件数が増加しないように事故原因の詳細な分析、早急かつ利用者の個別性を考慮した対策立案を多職種連携で行い、転倒による受傷、重大事故を予防していきます。

d. 健康管理

ア 健康の維持増進

2012年度の介護報酬の改定で新設され、肺炎・尿路感染・帯状疱疹を発症し施設内で治療を行った場合に算定可能な所定疾患施設療養費を算定し、2019年度も前年度同様肺炎・尿路感染の発症・重症化予防に重点を置きました。

当施設における2019年度の所定疾患別施設療養費算定状況は下記の通りです。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
尿路感染	算定人数	1	1	2	0	0	0	0	2	0
肺炎	算定人数	0	0	0	0	1	3	1	1	3

1月	2月	3月	合計
0	0	0	6名
1	0	0	10名

当施設は在宅復帰支援に重点を置いていますが、長期療養となっている利用者も多く利用者には定期的に採血を施行、また必要時採血以外に施設内で可能な検査等異常の早期発見に努めています。施設長が診察し医療機関での治療が必要と判断した場合には家族へ適切な場所での療養を適宜提案しており、今後も継続が必要と考えます。

イ 褥瘡対策

褥瘡を作らない「予防」に重点をおき、褥瘡有病者に対しては医師・看護職員が中心となり施設内での早期治癒を目指し治療を行い、有病者全員が施設内で治癒しました。年間の平均褥瘡有病率は0.33%で、全国の老健の1.16%（2016年度）を下回っています。次年度も、多職種が連携し栄養面等様々な視点から褥瘡予防・治療に対する意識を高く持つことができるよう、褥瘡対策委員会を中心に研修会を企画する等活発な活動を行います。

ウ 感染対策

感染対策委員が中心となり、職員へ内部研修やラウンドを通して正しい感染予防策の周知・徹底に努めました。2019年度、インフルエンザ、ノロウイルス性食中毒等感染症の発症はありませんでした。次年度もインフルエンザワクチン予防接種率を維持し、インフルエンザの感染予防に努めます。その他の感染症についても流行状況を把握し、利用者の感染予防に努めます。

e. リハビリテーション

リハビリテーション実施状況は、短期集中リハビリテーション（2,916件）や個別リハビリテーション（ショートステイ951件）の充実した対応に加えて、認知症の利用者への関わり方を評価・実施する認知症短期集中リハビリテーション（1,024件）にも取り組みました。また、土曜日・日曜日も1名以上のリハビリ職員を配置し、対応できるようにしました。その他、伝達講習会の開催や他施設への講師派遣を行い、職員への技術的

指導を行いました。

今後も、提供するリハビリの量だけでなく、その質も向上が図れるように次年度への維持そして更なる向上に取り組みます。また、リハビリテーション職員が協働して支援するよう努めます。

#### f. 食事・口腔衛生管理

生活の楽しみである「食べること」が、安全に行えるように利用者へ口腔ケアの実施・指導、摂食嚥下機能の評価を行っています。医師、言語聴覚士、管理栄養士など多職種が協力し、美味しく安全な食事摂取ができるように療養食の提供や栄養管理を行っていきます。それぞれの取り組みにより誤嚥性肺炎を予防し、今後も利用者の健康の維持・増進が図れるように取り組んでいき、「楽しく食べること」をサポートしていきます。

#### g. 余暇活動の提供

施設での生活を活動的に過ごせるよう、余暇活動やレクリエーションを行いました。ラジオ体操ややまべエ体操（西区ご当地体操）などの集団体操の他に、歌の会やオセロ、塗り絵、貼り絵等の余暇活動を行いました。また、午後の時間を中心にボーリングや棒サッカー等、集団で楽しめるレクリエーションを行い、体を動かすことができました。次年度も、楽しみのある施設生活が送れるように充実したレクリエーションや余暇活動を提供していきます。

### ②在宅復帰・在宅支援

2019年度は前年度同様に利用者・家族の理解・協力のもと在宅復帰率 40%以上（平均 45.50%、前年度 61.03%）を維持し、年間で 39 名（前年度 49 名）の利用者が在宅復帰をしました。また在宅復帰された方のショートステイ利用についても、関係事業所（居宅介護支援事業所等）と連携しながら実施できました。現在入所中の軽度要介護者についても安心して自分らしく地域で生活して頂けるよう、利用者・家族の意向を確認しながら、継続して在宅復帰への支援をしていきます。重度要介護者については、特別養護老人ホーム等の終の棲家で生活できる期間までの長期療養支援を行っています。

### ③人財育成の強化

教育系の企画・運営のもと下記研修を実施しました。研修内容や実施回数は介護保険法や札幌市からの指導により計画したもので、次年度も継続して行います。

#### a. 外部研修

研修期間	研修会名	参加職種	人数
6/8	医療安全対策セミナー	看護職員 介護職員	1 1
6/12	認知症介護基礎研修	介護職員	1
7/17	ナーシングフットケア	看護職員	1
8/17.18	ケアマネ受験対策講座	介護職員	1
8/24.9/7	介護福祉士実習指導者研修	介護職員	1
9/17	北海道高齢者虐待防止推進研修会	介護職員	1
9/26	医療政策の現状と医療・介護の連携を学ぶ	介護職員	1
10/20	認知症の方の食支援アプローチ	介護職員	1
10/28～	認知症介護実践者研修	介護職員	1

12/1	外部実習 1 日間職場実習 11 月 11 日から 12 月 8 日		
------	------------------------------------	--	--

b. 内部研修

研修期間	研修会名	参加職種	人数
4/11.25	2019 年度 事業計画	全職種	33
4/16	腰痛予防セルフエクササイズ	全職種	30
5/17	感染症対策と報告体制について	全職種	25
5/23.28	身体拘束等の適正化と個人情報保護法	全職種	35
6/11.18	褥瘡予防について	全職種	37
7/5.19	食中毒予防について	全職種	33
7/16.22	メディカルサポートセミナー ～医療安全対策・褥瘡対策～	全職種	30
8/9	地域包括ケアと介護終末期のリハケア	全職種	15
8/20	看取り期に望まれるケア	全職種	31
8/22.29	ストレスチェックについて	全職種	35
9/20	誰にでも安全で効果的に出来るナースングフットケア	全職員	18
9/27	介護現場における「適切なケア」	全職員	20
9/10.30	災害時の対応について	全職種	36
10/22	北海道高齢者虐待防止推進研修会を受講して	全職員	22
10/24	緊急時の対応～A. B. C から学ぼう	全職種	39
10/25	認知症介護基礎研修から	全職種	21
11/11	記録・文章力レベルアップ研修の報告	全職種	23
11/21.25	事故・ひやりはっと～集計と傾向について～	全職種	38
11/28	食の楽しみを続ける を受講して	全職種	20
12/4.9	ノロウイルス吐物処理の実践	全職種	26
12/12	認知症の方の食支援アプローチ	全職種	18
12/26	脳卒中の歩行のみかた	全職種	18
1/7.13	接遇について	全職種	36
1/27	社福施設等防火・救命実務研修会を受講して	全職種	16
1/30	認知症スキルアップ研修②を受講して	全職種	20
2/18	知らなきゃ損！備えあれば憂いなし！	全職種	12
2/20.28	事故の予防について	全職種	32
3/2.6	褥瘡・栄養について	全職種	31

※内部研修については通所、居宅、福井倶楽部合同参加

c. 地域との連携

- |                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| ア 「杜のこえ」の発行（毎月） | イ 病院・居宅介護事業所との連携      |
| ウ ボランティアの拡充     | エ 夏祭りを実施し地域の方の参加の呼びかけ |
| オ 専門学校（介護）への講師  |                       |

d. 実習の受け入れ

2019 年度は 3 校 9 名の介護福祉士専門学校の実習生の受け入れを行いました。介護職員は 2025 年までに 約 250 万人が必要と言われ、専門職の育成も老健の果たすべき役割と考え次年度も引き続き取り組みます。

ア 介護福祉士養成課程実習

実習期間	学校名	人数
6/10～6/28 7/8～7/19 11/25～12/13	札幌医療秘書福祉専門学校	計6名
6/19～7/25	北海道福祉大学校	計2名
11/18～12/6	札幌医学技術福祉歯科専門学校	計1名

イ その他の実習

- ・青葉学園 北海道看護専門学校 2年生 老年看護学実習Ⅰ  
8/20～9/7 11/12～11/30 各2名 計4名
- ・西野学園 札幌医学技術福祉歯科専門学校 理学療法学科 3年生 臨床実習Ⅳ  
1/6～1/31 計1名
- ・札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学科 3年生 臨床実習3(高齢者系)  
2/3～2/14 計2名

e. 人財確保

介護福祉士専門学校の定員割れが続く中、介護福祉士の需要は今後ますます高まると思われまます。今後も介護福祉士養成校と連携を取り、実習生やボランティア等の受け入れを積極的にいき、平和の杜が就職の場所として選ばれるような施設を常に目指して行きます。

④安定した施設運営

永きにわたり社会に貢献できる施設であるよう安定した施設運営と在宅支援の両立を目指し、在宅復帰率50%以上を目標としていましたが、40%以上に留まりました。次年度は今年度同様基本型(在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅰ)の算定を維持しながら在宅強化型(在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅱ)の算定を目指します。在宅支援や介護予防サービスへの関わりの充実のため、通所リハビリテーションや訪問サービス、居宅介護支援事業所との連携を継続します。

⑤防災対策の充実

防火(避難)訓練を2回(防災協会立会1回)実施しました。  
定期の消防設備点検を実施しました。

⑥苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。  
第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他 ( )	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他 ( )	0

⑦各種会議・委員会実施状況

会議等	実績	委員会等	実績
運営会議	12回	感染対策委員会	12回
給食会議	12回	褥瘡対策委員会	12回
入所判定会議	47回	事故予防対策委員会	99回
サービス担当者会議	162回	身体拘束廃止委員会	12回
看護業務改善委員会	12回	接遇向上委員会	12回
介護業務改善委員会	12回		

⑧行事等実施状況

4月	春のケーキバイキング 春の宴	10月	秋の運動会
5月	たこ焼き作り 端午の節句おやつ作り	11月	すき焼き大会 鍋の会
6月	フルーツポンチ作り 歌声喫茶	12月	クリスマス会 ビンゴ大会
7月	クレープ作り スイカのスムージー	1月	フルーチェ作り 福笑い・さっくりおもち
8月	夏祭り	2月	節分鬼退治 レアチーズ、生チョコ作り
9月	敬老会	3月	ひな祭り 紙漉き作品展



## (2) 平和の杜 通所リハビリテーション

### 1) 2019(令和元)年度事業報告について

今年度は介護の担い手である職員の人手不足を解消する方法として、増員を望むのではなく、在職中の職員の技術や知識などの向上を図る体制作りや、業務の見直しによる効率化の強化に努めました。全職員が共通の目標を持ち、日々の意見交換などをしながら、サービス提供時の質を低下させることなく業務の効率化を図ることにより、新たな活動として囲碁や将棋の時間を作ることができました。利用者から高いニーズのあるリハビリや運動についても、日常生活に活用できるリハビリや質の高い運動の提供に努めました。利用者個々のニーズを把握し、実践運動メニューを提案・実施・評価等にスタッフ共通で取り組みました。当通所リハビリテーションの特色である、男性利用者が約8割を占めている状況は現在も維持できており、各居宅介護事業所からご紹介いただく新規の方も男性利用者が圧倒的に多くなっています。現状に満足することなく、今後もチームケアを念頭に置き、充実したサービス提供に努める所存です。

### 2) 通所リハビリテーションの概況

#### ① 職員配置

2020年3月末現在

	施設長	支援相談員	看護職員	介護職員	管理栄養士	リハビリ	事務員	施設管理
定数	(1)	0	0	4	(1)	(1)	0	0
配置数	(1)	(1)	1	9	(1)	5	(5)	(4)

( ) は兼務

#### ② 利用者の状況

a. 利用者定員 40名（要支援者含む）

b. 月平均の利用者数（前年度の平均は23.9名でした。）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
21.9	25.5	22.1	23.8	24.1	24.1	23.8	25.3	26.1	25.5	25.6	22.7	24.0

c. 利用者の年齢構成

2020年3月末現在

	65未満	65~69	70~79	80~89	90才以上	合計
男性	3	4	13	27	7	54名
女性	2	1	4	7	4	18名
合計	5	5	17	34	11	72名

d. 利用者の介護度

2020年3月末現在

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援1	要支援2	合計
21	21	6	2	1	10	11	72名

### 3) 事業内容

#### ① 処遇・援助

a. 通所リハビリテーションサービス計画書

担当介護支援専門員作成の計画書の内容をスタッフ間で共有し、個々の利用者に心身状態・生活環境などを考慮した個別性の高い計画書作成を継続しております。また日常生活上、不便に感じていることなどを確認しながら、生活の質を向上できる内容の計画作成に努めました。計画書の内容は誰が見ても理解できるものにする為、専門用語などは出来るだけ使用しないように心がけました。

b. 食事

誤嚥予防や唾液分泌を促す目的である昼食前の嚥下体操を継続しているほか、個々の嚥下状況・嗜好・摂取状況等の把握に努め、その方に適した食事形態・食事を提供するなど、利用者や言語聴覚士と共に検討・変更・評価に努めました。

c. 入浴

「安全で快適な入浴」を目標として、個人の身体機能・残存機能を把握し過剰介助の廃止、職員間で統一した支援、適切な介助・見守り等を提供できる取り組みを継続しております。

d. 排泄等

同性介助を基本として、羞恥心に十分配慮できる体制を継続しております。オムツやパットなどに頼ることなく、可能な限りトイレでの通常排泄できるよう、個々の排泄パターンを見極めも強化しました。また、より清潔な環境で排泄していただく為、トイレ内の定期点検・清掃・消毒に努めました。

e. 健康管理

利用時の健康管理（バイタルチェックや全身状態の観察・確認、食事摂取状況の確認、毎月の体重測定など）を継続的に行っていたほか、必要時には家族や主治医と連絡を取り合うなど体調管理に努めました。日々の手指消毒を日常的に行い、感染症予防への取り組みを行うと同時に、食中毒発生時期やインフルエンザ流行時期等は、早い時期から予防策を掲示板へ貼り出し自宅から食べ物を持ち込むことをご遠慮いただくなど予防対策を継続的に行いました。さらに、2月中旬よりコロナウイルス感染拡大防止に努め、マスク着用や手指・手すりなどの消毒の強化、送迎車内やフロア内の定期的な換気などに努めました。

f. リハビリテーションの充実

介護度（予防・介護）に関係なく、理学療法士や言語聴覚士を中心に、より個々の身体状況や失語症や構音障害等の状態に合ったリハビリを提供しました。必要時には家屋調査や家族へ生活状況の聞き取りや、生活上の助言・指導などに努めました。

g. 身体的拘束の禁止の徹底

定期的に職員間で身体拘束マニュアルを確認し、身体拘束に対する意識を高めるように取り組んできました。

h. 各種会議・委員会

会議等	実績	委員会等	実績
通所会議	12回	事故予防委員会	74回
業務改善会議	12回	感染対策委員会	12回
接遇向上委員会	12回		

i. 行事等実施状況

行事		行事	
喫茶まんぷく2	4/8～4/12	秋を満喫バイキング	10/14～10/18
お花見ドライブ	4/29～5/3	ビンゴ大会	11/18～11/22
個別お食事会	5/20～7/16	忘年会	12/23～12/24
夏祭り	8/3	新年会	1/2～1/3
納涼かき氷大会	8/19～8/23	喫茶まんぷく3	2/17～2/21
敬老会	9/16～9/20	鍋パーティー	3/23～3/27

②内部研修

P6 (1) 介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、居宅、福井倶楽部合同参加

③苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。  
 第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他 ( )	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他 ( )	0

④防災対策の充実

防火（避難）訓練を2回（防災協会立会1回）実施しました。  
 定期の消防設備点検を実施しました。

### (3) 平和の杜居宅介護支援事業所

#### 1) 2019(令和元)年度事業報告について

地域包括支援センターを中心に依頼件数が増え、職員を増員しました。介護サービスだけでなく本人や家族、地域の力も利用して利用者が住み慣れた地域で長く過ごせるように支援をすることを心がけて業務に取り組みました。

今後も今まで行っていた他事業所との事例検討会や外部研修への参加で自己研鑽に努め、利用者や家族への支援が途切れないように緊急時の相談対応を続けていきます。

#### 2) 平和の杜居宅介護支援事業所の概況

##### ①職員配置数

2020年3月末現在

職 種	管 理 者	介護支援専門員
定 数	(1)	(1)
配 置 数	(1)	7(2)

( )は兼務

##### ②利用者の状況

###### a. 要介護（国民健康保険連合会請求分）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
149	149	144	166	158	154	168	166	168	167	168	167	1,924件

###### b. 要支援（地域包括支援センター請求分）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
45	43	43	45	46	46	44	42	51	45	46	48	544件

##### ③相談援助

###### 訪問相談件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
164	163	158	181	173	169	182	183	183	182	183	181	2,102件

##### ④その他（年間件数） 2019年4月～2020年3月分

###### a. 認定手続代行者数

114件

###### b. 新規契約者数

43件

###### c. 契約満了者

55件

※b・cは介護予防者を除く

###### d. 利用者紹介元

2019年4月～2020年3月

利用者の紹介元	件数
病院	2
地域包括支援センター	30
他事業所	17
家族	9
要支援→要介護	10
その他	4
合計	72件

###### e. 利用者の移行先

2019年4月～2020年3月

利用者の移行先	件数
病院	19
介護施設	5
サ高住等	1
死亡	14

要介護→要支援	4
その他	7
合計	50件

⑤苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他 ( )	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他 ( )	0

⑥職員研修等

a. 内部研修

P6 (1) 介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、通所、福井倶楽部合同参加

b. 外部研修

月日	研修会名	場 所	人数
6/1	地域包括ケアと介護終末期リハ・ケア	札幌医科大学臨床教育研究等	1
7/5	初任ケアマネジャー研修会	第2水産ビル 4階	2
8/21	ケアマネジメント能力向上研修	カナモトホール	1
8/28	ケアマネジメント実務の手引伝達研修	第2水産ビル 4階	1
9/13	成年後見制度を利用したいのだけどセミナー	かでの2・7	1
9/14	第1回地域フォーラム ボランティア	教育文化会館	2
10/21	札幌市介護支援専門員指導者研修	北海道自治労会館	1
12/18	札幌市介護予防ケアマネジメント研修	北海道自治労会館	1
1/17	介護予防ケアマネジメント従事者研修	TKP 札幌ビジネスセンター赤レンガ前	2

他法人との事例検討会：五天山園居宅介護支援事業所・セージュ山の手居宅介護支援事業所と実施 (9/10) 7名出席。

## (4) 平和の杜訪問リハビリテーション

### 1) 2019(令和元)年度事業報告について

2018年10月に事業を開始し、2019年度は33名の利用者に訪問リハビリテーションを実施することができました。地域の関係機関に当事業所が周知されてきたことから、現在も利用者数は増加傾向です。訪問リハビリテーションは利用者の生活ニーズを把握し、心身機能の維持や回復を図り、生活の質を高めるための支援ができるように職員一同自己研鑽を積み業務に従事しました。また、利用者がいつまでも地域で自立した在宅生活が送れるように支援をしました。

### 2) 平和の杜訪問リハビリテーションの概況

#### ①職員配置数

		2020年3月末現在
職 種	管 理 者	理学療法士
定 数	(1)	(1)
配 置 数	(1)	(3)

( )は兼務

#### ②利用者の状況 2019年4月～2020年3月

##### a. 要介護

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
124	144	140	163	145	145	180	193	234	260	227	239	2,194件

※要支援 195件

#### ③相談件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
7	3	3	2	3	3	4	1	2	2	3	3	36件

#### ④実施地域

西区	中央区
32名	1名

#### ⑤利用者の転帰先 (2019年4月～2020年3月)

利用者の転帰先	件数
通所リハビリ、通所介護	1
入院	3
その他	4
合計	8件

#### ⑥苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

##### a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

##### b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0

##### c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0

b	個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c	財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d	制度・試策・法律に関わる要望	0
e	その他（ ）	0

b	職員の態度	0
c	サービス内容	0
d	サービス量	0
e	権利侵害	0
f	その他（ ）	0

⑦職員研修等

a. 内部研修

P6 (1) 介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、通所、居宅、福井倶楽部合同参加

b. 外部研修

月日	研修会名	場 所	人数
6/1	第1回訪問リハビリテーション連絡協議会	溪仁会リハビリテーション病院	1

## (5) 平和の杜 訪問看護ステーション

### 1) 2019（令和元）年度事業報告について

訪問看護ステーション開設から2年目を迎え、地域の関係事業所へ訪問することで少しずつ認知が広がり、依頼も増えてきました。（利用者は14名。終了は3名（軽快1名、入所1名、転居1名）。介護保険12名、医療保険2名。平均年齢は88歳。平均要介護度2。高齢で介護度は低いです。が、疾患は脳血管疾患後遺症、パーキンソン病、大動脈解離、糖尿病、腎不全、認知症等、様々な疾患を持ち、サービス内容も病状観察、入浴介助、創処置、尿道留置カテーテル管理、胃管管理、家族支援など様々です。一度つながったケアマネジャーや病院相談員などからの依頼が度々あり、稼働率は3月には100%となりました。今後、セラピストの訪問も可能となり利用者のニーズに、より応えることができます。慢性的な看護師不足に対しては苦慮していますが、24時間対応や勉強会への参加も行い自己研鑽に努めております。継続利用していただくことができているのは、頼りにしていただけていると信じ、より一層の知識、技術を備えた質の高い看護の提供ができるよう努力していきます。

### 2) 平和の杜訪問看護ステーションの概況

#### ①職員配置数

2020年3月末現在

職種	常勤	非常勤	備考
管理者（看護師）	(1)		看護職員と兼務
看護師	2	1	
事務職員	(5)		平和の杜と兼務

( ) は兼務

#### ②利用者の状況

##### a. 要介護

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	6	7	9	10	10	11	11	10	10	9	9	9	655
延べ回数	22	32	41	59	53	64	68	63	67	62	52	72	

##### b. 要支援

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	1	0	0	1	0	0	0	1	2	2	2	1	39
延べ回数	3	0	0	4	0	0	0	5	8	9	6	4	

##### c. 医療

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	67
延べ回数	6	8	4	4	5	4	5	4	5	5	4	13	

##### d. 合計

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	8	8	10	11	11	12	12	12	13	12	12	12	757
延べ回数	31	40	45	63	58	68	73	72	80	76	62	89	

#### ③相談件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5	2	0	1	3	1	0	4	2	2	2	2	13

#### ④その他（2020年3月現在）

指示書発行機関 4機関



指示書発行医師数 5名

e. 利用者紹介元 2019年4月～2020年3月

利用者の紹介元	件数
病院・クリニック	3
地域包括支援センター	4
介護施設	1
居宅介護支援事業所	6
家族	0
その他	0
合計	14

f. 利用者の移行先 2019年4月～2020年3月

利用者の移行先	件数
病院	0
介護施設	1
死亡	0
自宅	1
その他	1
合計	3

⑤ 苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他 ( )	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他 ( )	0

⑥ 職員研修等

a. 内部研修

P6 (1) 介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、通所、居宅、福井倶楽部合同参加

b. 外部研修

月日	研修会名	場 所	人数
6/15	テルモPD看護基礎セミナー	TKP札幌ホワイトビルカンファレンスセンター	1
6/22	北海道訪問看護ステーション連絡協議会 「総会・特別講演会」	カレス8ホール	1

7/13. 14. 8/10. 11	コンチネンス初級セミナー	札幌市内	1
9/14. 15	日本在宅医療連合学会第一回地域フォーラム 在宅医療！ゴチャまぜ！DO！だべサ！	札幌市教育文化会館	1
9/21	北海道・東北地区訪問看護ステーション連絡協議会合同研修会・交流会	定山溪万世閣ホテルミリオーネ	1
10/26. 27	エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座	札幌市内	1
8/5. 9/3. 10/10 11/12. 12/12 1/14. 1/20. 2/21	地域における臨床倫理コンサルテーション チーム活動及び在宅もやもや研修会	札幌医師会	1

他、西区・中央区・手稲区ケア連絡会に参加。

### Ⅲ グループホーム 福井倶楽部

#### 1) 2019（令和元）年度事業報告について

2019年度は利用者の入れ替わりが多く、平均年齢は上がりましたが、平均介護度は軽くなり身体介助が減った事で前年度に出来なかった町内会の行事への参加や遠方への外出行事を多く行うことができました。ホーム内でも皆で一緒に出来ることが増え、昨年度とは異なった活動を提供することが出来ました。新規の入居が続いたことで利用者や家族との信頼関係の構築に励む1年でもありました。大きな事故もなく健康で安全に過ごす事が出来ました。

次年度も利用者の個性を大切に、それぞれのレベルやニーズに合った細やかな対応を心掛け地域の中心で安心して過ごせるようサービス提供に努めます。

#### 2) 福井倶楽部の概況

##### ①配置職員

2020年3月末現在

	管 理 者	計画作成担当者	介 護 職 員	看 護 職 員
定 数	(1)	1	3	(1)
配 置 数	(1)	(1)	7 (2)	1

\*管理者は介護員を兼務。\*計画作成担当者は介護員を兼務。\*（ ）は兼務者の人数。

##### ②利用者の状況

a. 利用者定員 9名

b. 入・退所状況 (直近3ヶ月)

	1月	2月	3月
入 居 者	0	1	0
退 居 者	0	0	0

c. 利用者の介護度内訳

2020年3月末現在

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
5	3	0	1	0

#### 3) 事業内容

##### ①地域とのかかわり

地域のお店の利用、町内会の回覧板にホームの広報誌を入れて頂き地域の中のグループホームという位置づけを定着してもらえよう活動する事が出来ました。

##### ②サービス

個別性とストレスのない穏やかな生活をテーマにサービスを提供しており、明るく家庭的な雰囲気です寄り添う介護が出来ました。

##### ③事故報告

誤薬1件

##### ④職員研修

介護現場における適切なケア研修 1名  
 看取り期に望まれる実際のケア 1名  
 地域共生型ホームの可能性 1名  
 現場で役立つ医療と知識向上研修 1名  
 介護支援専門員更新研修前期Ⅰ 1名  
 食の楽しみを見つける 1名

北海道虐待防止推進研修会 1名

社会福祉防止救命実務研修会 2名

P6 (1) 介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、通所、居宅等合同参加

⑤苦情解決の状況

- ・苦情の申し立てはありませんでした。
- ・第三者委員には、定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他 ( )	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他 ( )	0

⑥外部評価の実施

2019（令和元）年12月19日に福祉サービス評価機構Kネットにより実施しました。

## 事業報告の附属明細書

2019（令和元）年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

社会福祉法人 杜の会  
理事長 大橋 俊男